

YUSHIN

YUSHINレポート
2021

2021年3月期

株式会社ユーシン精機

できない。無理だ。は出発点

創業者 小谷 進

目次

概要	03
経営理念・社訓	04
価値創造の軌跡	05
ユーシン精機の強み	07
リスク	08
トップメッセージ	09
財務ハイライト	11
非財務ハイライト	12
品目別売上高	13
地域別売上高	14
業種別売上分析	15
セグメント情報	16
グローバルネットワーク	17
ESG	19
ESG - 環境、ESG - 社会	20
ESG - ガバナンス	21
取締役・監査役	23
取締役会のスキルマトリックス	27
財務データ集	28
株式情報	35
会社情報	37

編集方針

ユーシン精機では、株主・投資家をはじめとした様々なステークホルダーの皆さまに、当社がどのように社会的・経済的価値創造を実現し、持続的成長を目指しているかについて理解を深めていただきたいという思いから、YUSHINレポートを作成しています。このレポートが皆さまとの対話の一助となれば幸いです。

報告対象期間

2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)を主たる対象期間としています。なお、一部内容に当該期間外の情報も含まれています。

報告対象範囲

株式会社ユーシン精機及び連結子会社13社を対象としています。

将来見通しに関する注意事項

本「YUSHINレポート2021」に記載されている将来の業績に関する予測や見通し等は、作成時点で入手可能な情報により当社が合理的と判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が含まれています。そのため、実際の業績等は様々な要因の変化により記載の予測・見通しとは異なる可能性があります。

概要

1973年の会社設立当初、各種の自動機を設計・製造しておりました当社が、初めて「プラスチック製品取出口ロボット」を世に送り出したのは会社設立から5年後の1978年でした。以来、業界の発展とともに歩みを進めてまいりました。

当社は技術者であった創業者の「できない、無理だ、は出発点」という言葉に表されるように、常に業界の常識に縛られることなく、お客様のご要望にお応えするために新しい技術に挑戦してまいりました。今後、世界のものづくりの現場では、人手不足や感染症の拡大等により、ますます自動化が進むと考えられます。また世界的な環境に対する取り組みが進む中、省エネルギーの観点もこれまでよりも更に重視されるでしょう。労働安全性と生産性が高く、省エネルギーな工場の実現をサポートするために、これからも新しい技術に挑戦してまいります。そして常に新しい価値を創造することによって永く継続してグローバル社会に貢献してまいります。



世界中のものづくりの製造現場に
生産自動化を支えるユーシン精機の技術があります

経営理念・社訓

経営理念

我社は人間尊重を基本として、
公正かつ健全な「力と知恵と勇気」をもって行動し、
顧客と株主の信頼を得ます。

世界をめざして常に革新ある技術を創造し、
広く社会に貢献します。

我々仲間は一一致協力して
社業の発展に尽くし、もって物心共に
豊かな生活を得ることを目指します。

社訓

今日も一日、
より良くユーザーに尽くし
より多くの信用を得ましょう。

価値創造の軌跡

【創業者語録】

品質は社運を決める

できない無理は、はじ出発売

創業期

事業基盤の形成

既存事業の強化とグローバル展開

1973年

株式会社ユーシン精機設立
(京都市東山区)



1985年

本社工場を伏見区に移転



1988年

YUSHIN AMERICA, INC. (アメリカ) 設立



2000年

YUSHIN KOREA CO., LTD. (韓国) 設立

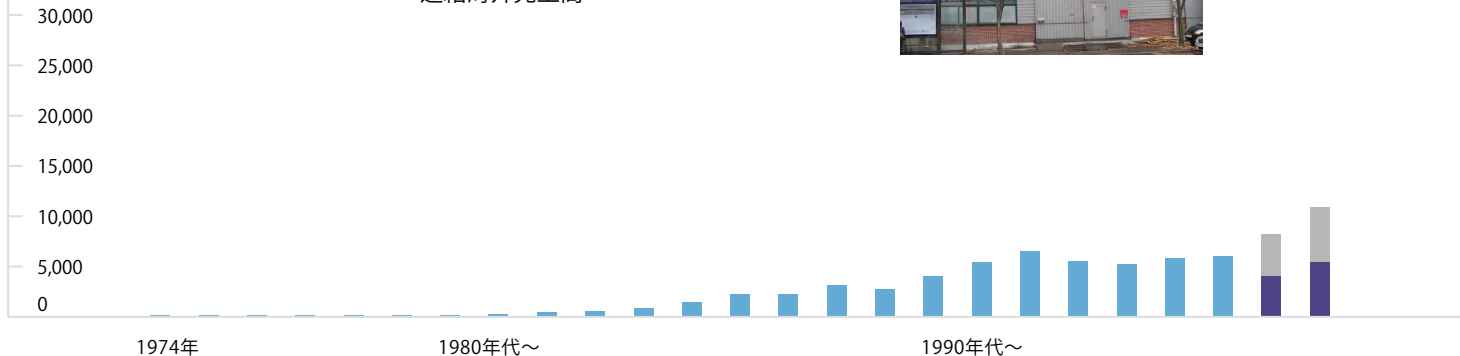


〈売上高〉
(百万円)

■ 単体売上高

■ 連結国内売上高

■ 連結海外売上高



1978年

ユーシン精機第1号
スイングタイプ取出口ロボット
発売



1989年

【業界初】
全軸サーボモーター駆動
取出口ロボット
SERVOLINER発売



1996年

【業界初】
カラータッチパネル式
コントローラを標準装備



2002年

【世界最速】
取出タイム0.069秒
ディスク取出口ロボット
「DRDIII」発売



株式会社ユシン精機は設立以来、プラスチック成形品取出口ロボットを主力製品とし、業界の発展とともに歩を進めてまいりました。海外にも積極展開し、国内最後発メーカーながら2000年代には世界シェアNo.1に成長しました。創業者の「できない、無理だ、は出発点」の想いのもと、これからも新しい技術に挑戦し、取出口ロボットのリーディングカンパニーとしてグローバル社会に貢献してまいります。

新規分野への挑戦

成長戦略への基盤づくり

新たな成長戦略の展開

2013年

テクニカルセンター完成

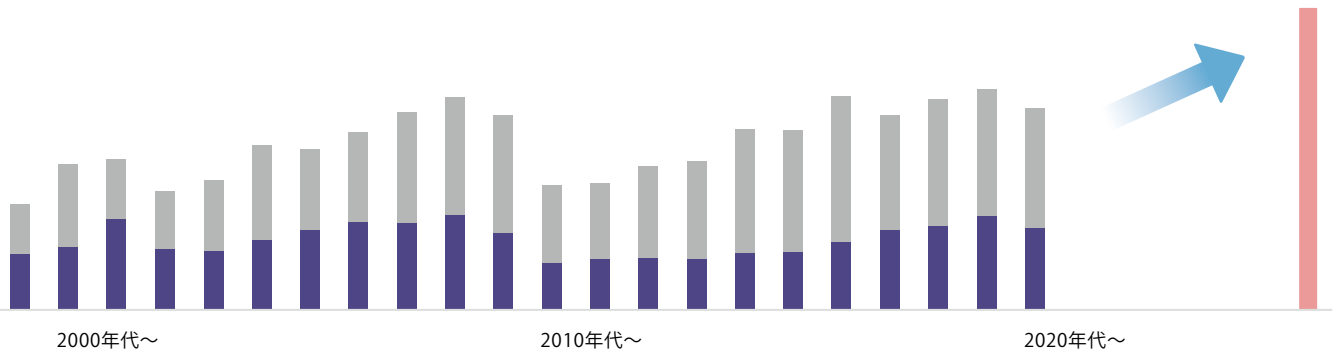


2016年

新本社工場完成(京都市南区)



中期経営目標



2010年

【最適設計技術】
京都大学と共同開発した
取出口ロボット「HSA」発売



2017年

【アクティブ振動制御】【IoT】
ハイエンド製品取出口ロボット「FRA」発売
IoTサービス「INTU LINE」発売



2020年

【プラスチック業界以外への展開】
パレタイジングロボット「PA」
発売



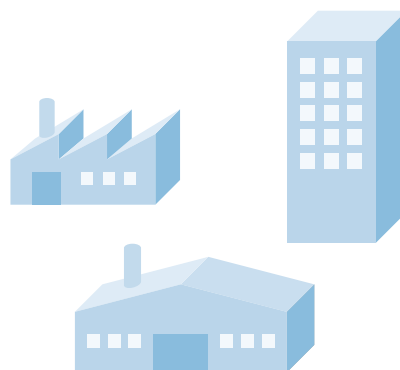
ユーザー精機の強み

技術力

- 業界初へのこだわり
- 新規分野への挑戦
- 大学との連携
- 省エネルギー商品開発
- IoT対応
- 制振制御技術(特許取得)
- 数々の受賞歴

幅広いユーザー層

- 大企業から小規模工場まで
- グローバルに展開
- 多業種への展開



業界
シェア
No.1

信用

- 生産を止めないものづくり
- レスポンスの良さ
- AIも活用したサービス対応
- 納期厳守
- 省人、自動、効率化による働き方支援



財務体質

- 無借金経営を継続
- 高い自己資本比率
- ファブライト経営
- 即断即決が可能
- 災禍に強い

リスク

経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクと主な取り組みは、以下のとおりです。

財務リスク	関連するリスク	ユーシン精機の主要な取り組み
外部要因 (市況)	<ul style="list-style-type: none"> ● プラスチック射出成形産業の設備投資状況 ● 為替の変動による海外子会社業績の円貨換算への影響 ● 競合企業による値下げ攻勢 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多業種に販売を展開することで、特定業界の景気の波に左右されることのない事業運営を行っています。 ● 新商品の開発や製造及び販売コストの削減等を継続的に実施しています。
外部要因 (購買)	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料の価格変動 ● 仕入先の部品供給制限や製造中止 ● 市場での需要増加による供給制限 	<ul style="list-style-type: none"> ● 信頼のおける複数の購買先を確保する等して仕入価格の変動抑制に取り組んでいます。
外部要因 (自然災害等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震や風水害 ● 感染症蔓延による各国の都市封鎖、外出制限 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「防災・業務継続計画」を策定・周知し、定期的な防災訓練の実施や社員安否確認システム等の構築に努めています。 ● 緊急時には、感染症対策や衛生管理の徹底、時差出勤・テレワークやWeb会議等の活用による効率的な事業運営を行っています。
内部要因 (事故)	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質を原因とする補償費用の発生 ● 労働災害の発生 ● 情報セキュリティ事故（サイバー攻撃、コンピュータウイルス、不正アクセス）による情報流出や重要データの破壊、改ざん、システム停止 ● 情報システムの不具合によるシステム停止 	<ul style="list-style-type: none"> ● 品質管理に基準を設け、常に徹底した管理、適切な対応に取り組むことにより国際標準にも適合した高い品質管理体制を構築しています。 ● 請負業者賠償責任保険、生産物賠償責任保険に加入しています。 ● 労働災害を防止すべく社員の健康・安全には十分注意を払っています。 ● 情報の厳格な管理、情報セキュリティ対策の強化を図るとともに、役員及び従業員に対する教育啓発を実施しています。
内部要因 (人財)	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業展開のスピードに対応した人財確保が不十分 ● 育成が奏功しない ● 専門分野担当者の退職や休職 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバルでの事業展開を加速するため、必要とする人財を採用、育成し、雇用の維持ができるよう処遇の充実を図るとともに、努力・チャレンジを応援する人事制度の整備に努めています。 ● ITツールの活用による効率性向上を図っています。 ● 女性の活躍支援を図っています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末納品の場合に検収の状況によっては予定していた売上高や売上原価が翌連結会計年度に計上される 	

トップメッセージ

ロボットを通して世界中の成形工場に安心・安全を提供し、省エネルギーで生産性の高いものづくりをサポートしたい。この姿勢が、より豊かな社会づくりに貢献できると信じて、これからも新しい価値の創造に挑戦してまいります。

◆ 市況と販売状況

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、企業活動は大きく制限されました。このような状況のもと、当社グループは、顧客、取引先及び従業員の安全を第一に感染には十分な注意を払いつつ、引き続き世界規模でのビジネス拡大に取り組んでまいりました。

特に、多くの業種において設備投資需要が減少する中、2020年度は医療業界への販売を大きく伸ばしました。これまでも医療業界への積極的な取り組みを行ってきた米国では、新型コロナウイルス検査キットを始め、医療関連部品が増産されたことから、より多くのロボットを出荷しました。中国においては、2020年度前半より積極的に医療業界の開拓を進めた結果、年度後半より受注が増加しました。欧州においては、医療業界向けの特注機で引き続き一定程度の販売がありました。

また、6月にはパレタイジング(荷積み)ロボット「PA」を新たに発売しました。PAは、直行型搬送ロボットである当社の取出口ロボットの機構を活用し、工場の出荷工程等で段ボールをパレットに積み上げるロボットとして開発したものです。これまでのお客様はプラスチック射出成形業界が中心でしたが、このPAにより、食品業界等の新たな市場を開拓し始めています。

さらに、中国・アジア市場に取出口ロボットの新たなシリーズを投入しました。順調に受注を伸ばしており、価格競争が厳しい市場ではありますが、引き続きお客様の生産性向上及び環境性向上に寄与していきたいと思っております。

◆ 研究開発について

当社グループでは、世界中の幅広い業界のニーズに応える商品開発のため、「基礎研究」「要素開発」「応用開発」のそれぞれの段階に属する複数の研究開発テーマを並行して進めております。その成果として2020年度は、大型成形機対応取出口ロボット「LA」シリーズ、パレタイジングロボット「PA」シリーズをリリースしました。2021年7月には、エア消費量を大幅に削減することにより環境負荷を低減できる機能を搭載した「RC-SE」シリーズ、医療機器や電子デバイス分野で要望のあるクリーン対応の高速取出口ロボット「SX-41」の販売を開始しました。今後、商品企画プロセスを更にレベルアップさせ、多様なお客様業界、世界各地のマーケットに合ったロボット開発を進めていく予定です。

これまでも業界に先駆けてサーボモータ、カラータッ

チパネル等、新技術の導入をしてきましたが、今後も今まで以上に世の中の新しい技術動向へのアンテナを高くし、AIやIoT等の技術を手段としてお客様工場の安心・安全と生産性向上に努めてまいります。また環境負荷を低減する商品を継続的に開発し、ロボットの付加価値向上に取り組んでまいります。

◆組織・人財づくりについて

当社グループでは、これまで築いてきた強みや良さを継承し、新しい時代を切り拓くための組織・人財づくりにも取り組んでいます。

2020年4月に策定したCIカルチャーブックでは、「まず、想いとどく」をコンセプトに、社員一人ひとりが大切にしていこうと考える考えや行動指針、期待される人財像を明確化しました。トップマネジメントや経営幹部によるメッセージの発信、職場における対話や優良事例の共有等、グループ全体で浸透活動に取り組んでいます。2021年度からは自らCI浸透への施策を提案し取り組むブランドアンバサダーを育成するためのプロジェクトも開始しております。

またCI活動と連動して、2021年2月に策定した新たな人事制度では、努力・チャレンジの奨励や、成果に対する適切な評価・処遇を掲げ、成長のステージに応じて支援するための教育制度の充実（階層型プログラム、次世代リーダー育成の強化）や、仕事のやりがい・働きやすさの向上に向けた環境づくり（創造性と主体性を持った人財の育成を目的とする「イノベーションプロジェクト活動提案制度」の導入等）を推進しています。既存の人事制度の見直しにより、適材適所の任用・配置を行うとともに、メリハリのある人事処遇を図ってまいります。

◆ユーシン精機の価値創造について

品質がよく価格面でも納得のできるモノがグローバルに供給される世界。すべての人々が衛生的な暮らしを送

ることのできる世界。これらはSDGsの目標にも通じる、「人々が等しく豊かさを楽しむ世界」の在り方ではないでしょうか。このような世界を可能とする手段のひとつが当社が関わるプラスチック射出成形技術です。大量生産のために24時間稼働し続ける射出成形工場には、スピードと精度をもつロボットが求められます。当社はその両方を強みとしており、射出成形品取出口ロボットにおけるグローバルリーディングカンパニーであると自負しております。世界中の工場で、人々の平等な豊かさに寄与する製品製造を、トップレベルの技術で安心・安全にサポートする。これがユーシン精機がカタチにする価値創造であると考えています。



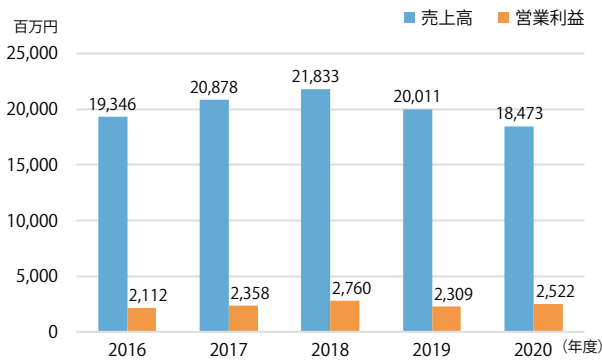
2021年10月

代表取締役社長
博士(工学)

小谷 高代

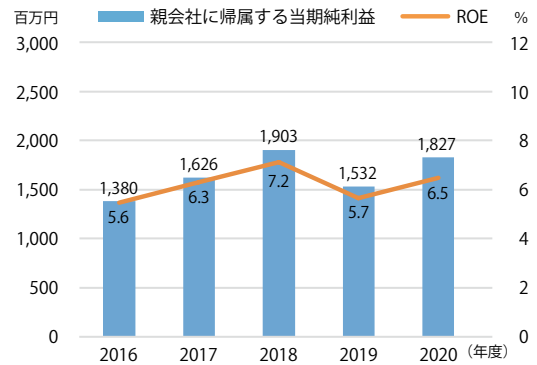
財務ハイライト

◆ 売上高、営業利益



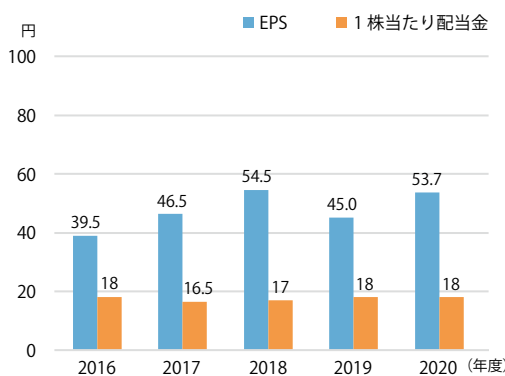
2020年度の売上高は、前期比7.7%の減少となりました。中国や韓国での販売が増加した一方で、日本での販売が伸び悩みました。営業利益は、原価率の改善に加えて経費削減に努めたこともあり、前期比9.2%の増加となりました。

◆ 純利益、ROE



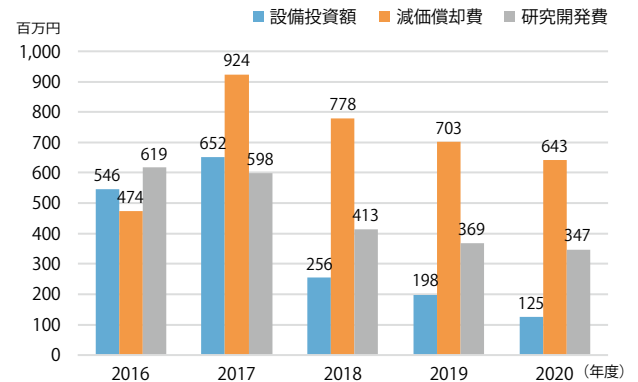
2020年度の親会社に帰属する当期純利益は、前期比19.2%増となり、営業利益の9.2%増を上回りました。これは主に為替差益が発生したことによるものです。ROEは6.5%となり、前期より0.8pt上昇しました。

◆ EPS、配当金



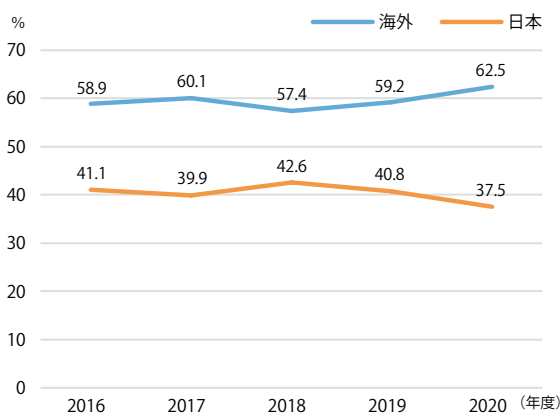
安定的・継続的な株主還元を実現するため、連結配当性向は30%以上を目標にしています。連結業績の向上を図り、普通配当の水準を引き上げていきたいと考えています。なお、2018年4月1日に1:2の株式分割を実施したため、2016～2017年の値は調整をしています。

◆ 設備投資額、減価償却費、研究開発費



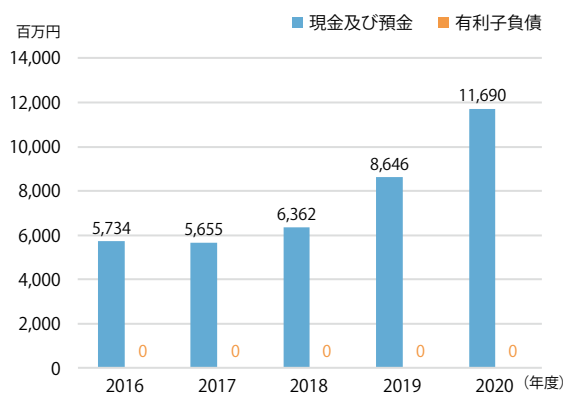
2016年の新本社工場建設に伴う減価償却費は、年々減少しています。研究開発費は、従来よりどのような経済状況下においても一定の投資を継続しています。

◆ 海外売上高比率



海外売上比率は、近年は60%前後で推移しています。2020年度は、国内市場の低迷、海外向け特注機の大型案件があったため、この5年間では高水準となりました。

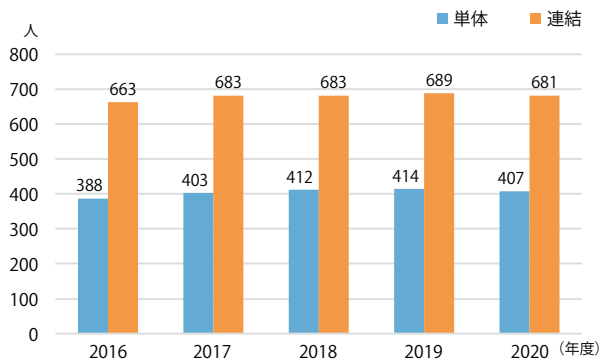
◆ 現金及び預金、有利子負債



2016年の新本社工場移転に伴い、現金及び預金の水準が低下しましたが、直近3年は、大きな支出がなく現預金の比率が高まってきています。将来の需要増等、適切なタイミングで機動的な投資が行えるよう、備えてまいります。

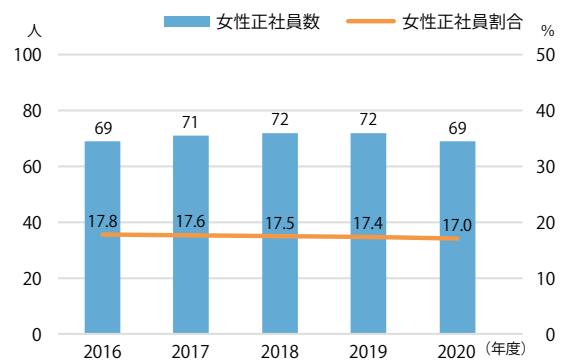
非財務ハイライト

◆ 正社員数



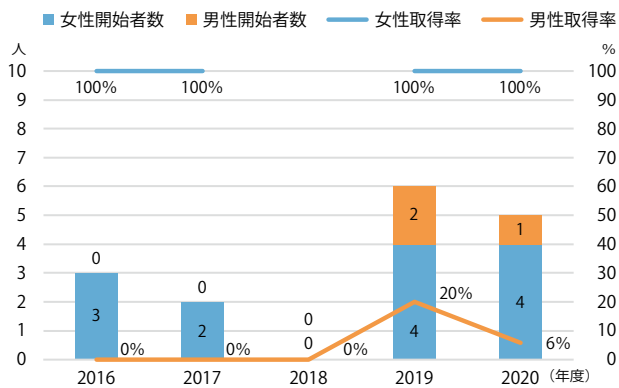
社員数は、この数年はほぼ横ばいで推移しております。

◆ 女性正社員数、割合(単体)



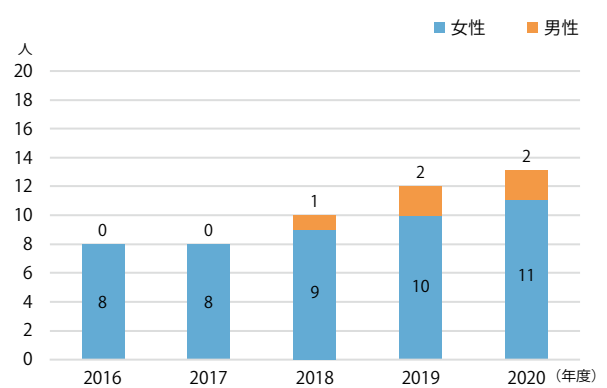
女性正社員数はこの数年はほぼ横ばいで推移しております。法要請を上回る育児・時短制度を整備しており、直近5年間の育児休業取得者の復帰率は100%でした。働き方改革を更に推進し、働きやすい職場環境づくりを推進していきます。

◆ 育児休業開始者数、取得率



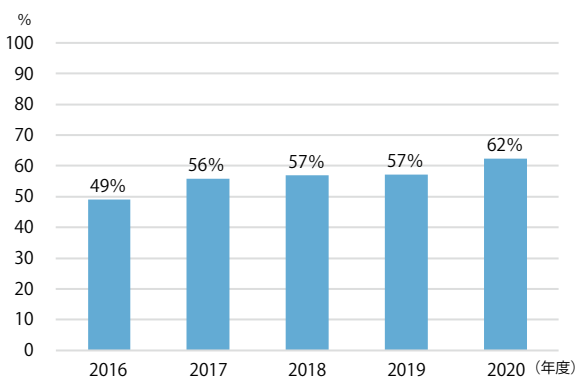
女性社員の育児休業取得・復職推進はもちろんのこと、男性社員の育児休業取得推進のために、育児休業への理解を深める冊子の作成・配付準備等を行っています。今後も多様化するワークライフバランスの実現に向けた意識醸成を図ってまいります。

◆ 育児短時間勤務制度利用者数



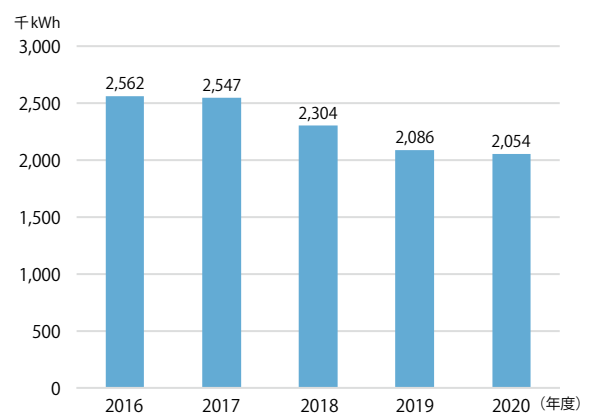
当社の時短勤務制度は、法定3歳未満までのところ小学校3年生まで利用可能としています。殆どの対象女性社員が、当該制度を利用して仕事と育児の両立を図っています。今後も社員のライフステージに応じた、職場環境の整備に努めてまいります。

◆ 年間有給休暇取得率(国内勤務正社員)



2020年度は前年度から5ポイント上昇し、62%の有給休暇取得率となりました。業務効率化や働き方改革を通じて、働きやすい環境の整備に取り組んでおります。有給休暇取得日数の増加は、社員満足度の向上、ワークライフバランスに寄与するものと考えています。引き続き、働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

◆ 電力使用量(単体)



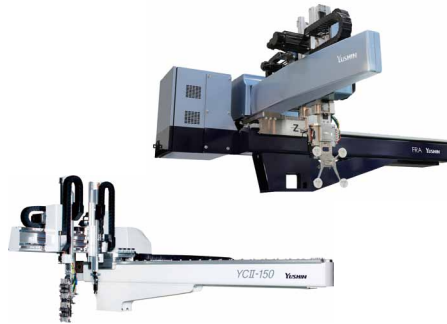
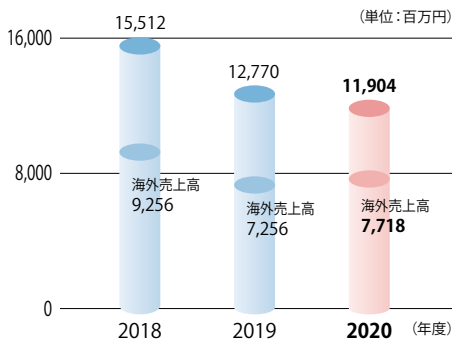
2016年12月より新本社工場が稼働しています。旧本社であった伏見工場からの業務移管が進むにつれ、新本社工場の省エネ設備効果が現れてきています。

品目別売上高

◆ ユーシン精機を支える3つの柱

ユーシン精機は、プラスチック射出成形品の製造工程に必須である「取出口ロボット」を主力事業とし、取出口ロボットが行う前後の自動化工程をサポートする「特注機」、それらの「部品・保守サービス」を展開しています。

取出口ロボット



売上高構成比
取出口ロボット

2020年度

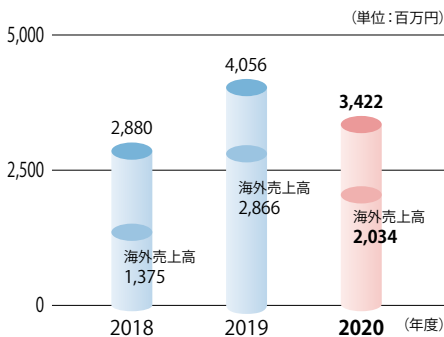
64%

- 前期比865百万円減(6.8%減)の11,904百万円となりました。
- 設備投資の抑制により、日本を中心に販売が伸びませんでした。下期は中国等で回復がみられました。

今後の成長戦略

地域特性、業種特性に応じた商品開発を継続してまいります。また、環境負荷を低減する商品の開発に、より一層取り組み、取出口ロボットの付加価値向上を図ってまいります。

特注機



売上高構成比
特注機

2020年度

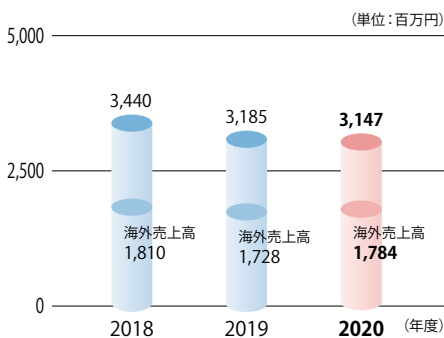
19%

- 前期比634百万円減(15.6%減)の3,422百万円となりました。
- 医療関係の販売が伸びませんでした。

今後の成長戦略

国内外において高まる自動化ニーズを受け、取出口ロボットとシナジーのある事業に注力してまいります。また2020年発売のパレタイジングロボットを通じて、プラスチック業界以外への商品展開も図ってまいります。

部品・保守サービス



売上高構成比
部品・保守サービス

2020年度

17%

- 前期比38百万円減(1.2%減)の3,147百万円となりました。
- コロナ禍においても安定的に推移しました。

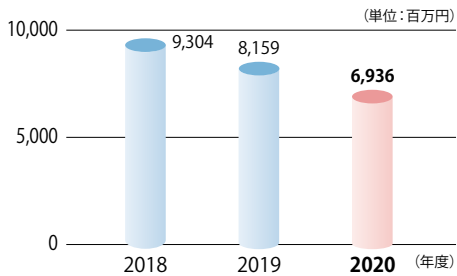
今後の成長戦略

他社との競争優位性の一つに、業界一の拠点網が挙げられます。今後も引き続き、グローバル展開を支える人財の確保・育成に注力し、全世界での質の高いサービス展開を図ってまいります。

地域別売上高

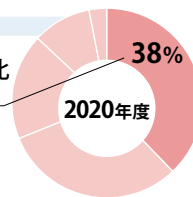
● 国内ネットワーク ● 子会社・支店・駐在員事務所 ● 総代理店

日本



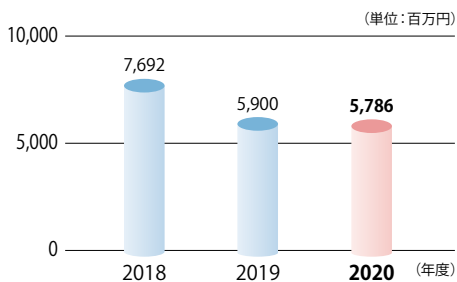
売上高構成比

日本



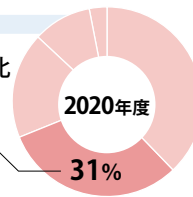
- 前期比1,223百万円減(15.0%減)の6,936百万円となりました。
- コロナ禍による設備投資の抑制があり、年間を通して低調でした。

アジア



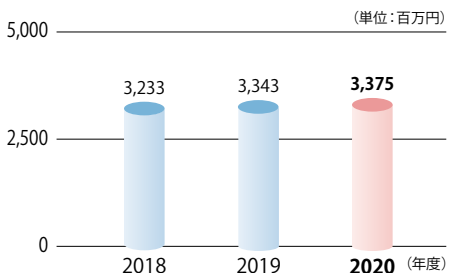
売上高構成比

アジア



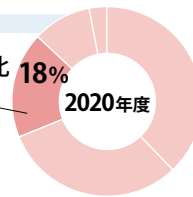
- 前期比113百万円減(1.9%減)の5,786百万円となりました。
- 上期は全般的に低調でしたが、下期は中国において急速な需要の回復がありました。

北米



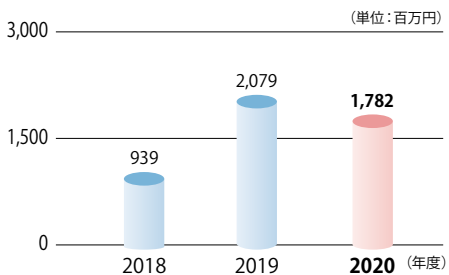
売上高構成比

北米



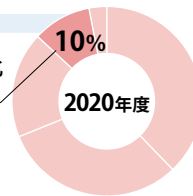
- 前期比31百万円増(0.9%増)の3,375百万円となりました。
- 自動車の落ち込みはありましたが、検査キット等医療関連で需要があり、全体として前年同水準を維持しました。

欧州



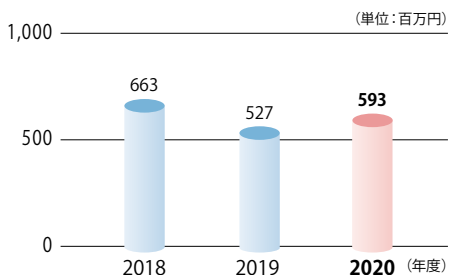
売上高構成比

欧州



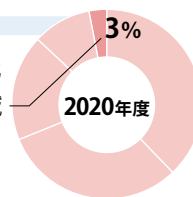
- 前期比297百万円減(14.3%減)の1,782百万円となりました。
- 医療向け特注機の売上の期ずれにより前期より低水準となりました。

その他の地域



売上高構成比

その他の地域



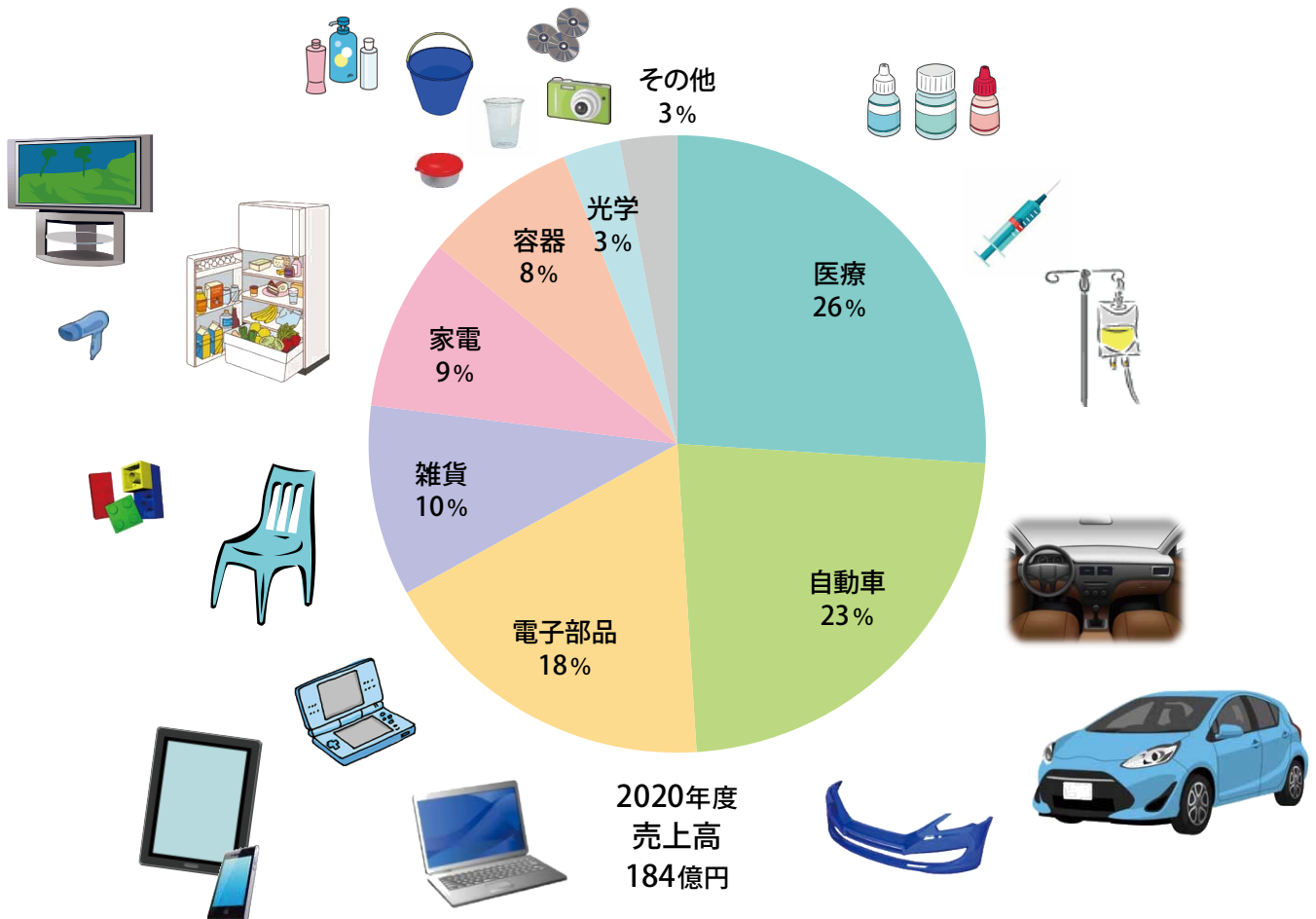
- 前期比65百万円増(12.4%増)の593百万円となりました。

業種別売上分析

◆ 幅広い業種でユーシン精機のロボットが使用されています

ユーシン精機のロボットは、プラスチック射出成形品の生産工場で活躍しています。そのためプラスチックを扱う多様な業種に事業展開しています。直近では自動車業界と医療業界への比率が高まっています。自動車業界では、部品の多くがプラスチックで代用されるようになり、軽量化ニーズも相まって、売上を伸ばしてきました。医療分野においては、衛生面の考慮から従来ガラス製であったものが使い捨てプラスチック製へと置き換わり、大量生産が行われております。ロボットの稼働スピード・正確性を強みとする当社にとっては、親和性の高い業界といえます。

2020年度は、医療業界向け売上比率が初めてトップとなりました。海外向け大型案件があったこと、コロナ対策向け検査キット等の需要があったこと等によるものです。自動車業界向けは、国内市場低迷の影響がありました。この数年は自動車業界向け売上比率がトップとなっており、市況の回復とともにさらなる伸びが期待できる分野です。電子部品業界は、中国の市況回復に伴い、下半期で売上を伸ばしました。



今後の成長戦略

多業種に展開することで、特定の業界の不況等に対するリスク分散が図られていると考えています。今後も引き続き、特定分野に偏りが生じない売上構成を目指していきます。その一方で、軽量化が求められる自動車業界、衛生への要望が強い医療分野でのプラスチックニーズは今以上に強くなると考えています。これらの分野は今後の事業発展のドライバーとなると見込んでおります。また、業界特有のニーズを満たした商品開発に注力してまいります。

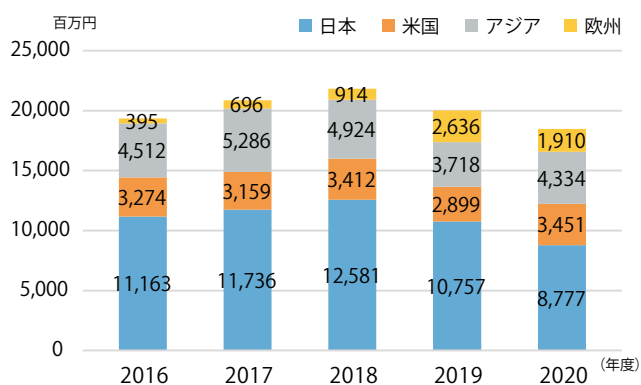
セグメント情報

◆セグメント別の売上高・営業利益・受注高

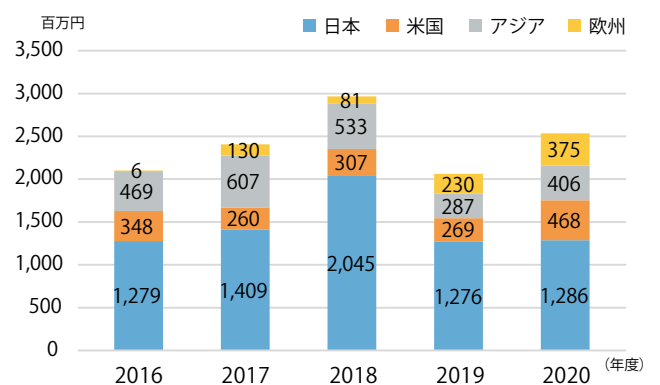
当社は、取出口ロボット及び省力化システムを含めた周辺機器の開発、製造、販売及びアフターサービスを行っており、国内においては当社が、海外においては北米、アジア（韓国、台湾、中国、インドネシア、ベトナム、マレーシア、タイ、インド）、欧州（イギリス、ドイツ）の各地域をYUSHIN AMERICA, INC.（米国）、YUSHIN KOREA CO., LTD.（韓国）、YUSHIN AUTOMATION LTD.（欧州）及びその他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造・販売及びアフターサービス体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「アジア」及び「欧州」の4つを報告セグメントとしております。

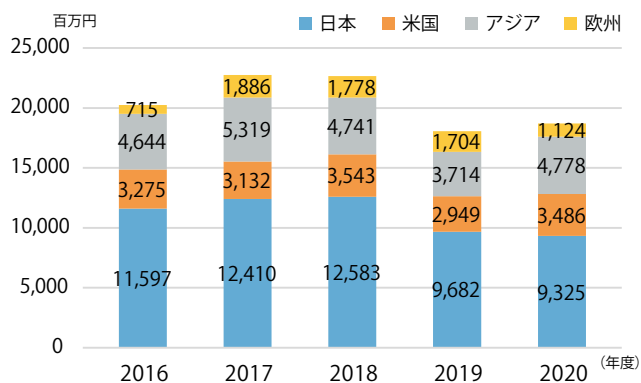
セグメント別外部顧客への売上高



セグメント別営業利益



セグメント別受注高



セグメントごとの2020年度の経営成績は以下のとおりです。

- 〈日本〉 コロナ禍による設備投資の抑制があり販売が低調であったため、売上高は前期比9.6%減の13,337百万円となりましたが、営業利益は前期比0.8%増の1,286百万円となりました。
- 〈米国〉 検査キット等医療関連での販売が伸びたため、売上高は前期比18.8%増の3,460百万円となり、営業利益は前期比74.1%増の468百万円となりました。
- 〈アジア〉 中国での設備投資が下期以降増加し販売が伸びたため、売上高は前期比14.5%増の4,582百万円となり、営業利益は前期比41.4%増の406百万円となりました。
- 〈欧州〉 医療向け特注機の売上が減少したため、売上高は前期比27.4%減の1,914百万円となりましたが、営業利益は前期比62.8%増の375百万円となりました。

グローバルネットワーク (2021年9月末時点)



本社・工場



アメリカ



韓国





マレーシア



台湾



タイ



イギリス



中国(深圳)



中国(上海)



ベトナム



中国(広州)

● 本社・工場

株式会社 ユーシン精機

〒601-8205 京都市南区久世城町555番地
TEL: 075-933-9555 FAX: 075-934-4033

■ 子会社 ■ 支店等

■ 韓国

■ YUSHIN KOREA CO., LTD.
TEL: +(82)31-433-9655~6 FAX: +(82)31-433-9663
■ DAEGU BRANCH
TEL: +(82)53-951-9442 FAX: +(82)53-951-9443

■ 中国

■ 有信精机商貿(上海)有限公司
TEL: +(86)21-6440-1586~7 FAX: +(86)21-6440-1806
■ 有信精机商貿(上海)有限公司 天津分公司
TEL: +(86)22-8823-8713 FAX: +(86)22-8823-8517
■ 有信精机貿易(深圳)有限公司
TEL: +(86)755-8358-0139 FAX: +(86)755-8358-0159
■ 広州有信精密机械有限公司
TEL: +(86)20-8269-0091 FAX: +(86)20-8269-0001

■ 台湾

■ 有信國際精機股份有限公司
TEL: +(886)2-2585-0507 FAX: +(886)2-2585-0527
■ 台中營業所
TEL: +(886)4-2265-8155 FAX: +(886)4-2265-2602

■ インドネシア

■ PT. YUSHIN PRECISION EQUIPMENT INDONESIA
TEL: +(62)21-8835-8185 FAX: +(62)21-8835-8186

■ ベトナム

■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT(VIETNAM) CO., LTD.
TEL: +(84)243-767-3844 FAX: +(84)243-767-3845
■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT(VIETNAM) CO., LTD.
HO CHI MINH REPRESENTATIVE OFFICE
TEL: +(84)283-899-0662 FAX: +(84)283-899-0648

■ マレーシア

■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT SDN. BHD.
TEL: +(60)3-5880-5445 FAX: +(60)3-5879-3151
■ JOHOR BAHRU OFFICE
TEL: +(60)7-598-5450 FAX: +(60)7-598-0102

■ タイ

■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT (THAILAND) CO., LTD.
TEL: +(66)2-662-2580 FAX: +(66)2-662-2583

■ インド

■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT (INDIA) PVT. LTD.
TEL: +(91)44-4231-8005 FAX: +(91)44-4231-8006
■ GURGAON BRANCH
TEL: +(91)124-474-8229 FAX: +(91)124-474-8230
■ BENGALURU OFFICE
■ PUNE OFFICE
■ GUJARAT OFFICE

● テクニカルセンター

〒601-8203 京都市南区久世築山町487番地
TEL: 075-933-9555 FAX: 075-922-3151

■ ドイツ

■ YUSHIN EUROPE GMBH
TEL: +(49)89-89-796-713 FAX: +(49)89-89-743-737

■ イギリス

■ YUSHIN AUTOMATION LIMITED
TEL: +(44)-1527-558-218 FAX: +(44)-1527-558-219

■ アメリカ

■ YUSHIN AMERICA, INC.
TEL: +(1)401-463-1800 FAX: +(1)401-463-1820
■ YUSHIN AMERICA, INC. NORTH CAROLINA OFFICE
■ YUSHIN AMERICA, INC. GEORGIA OFFICE
■ YUSHIN AMERICA, INC. OHIO OFFICE
■ YUSHIN AMERICA, INC. TEXAS NORTH OFFICE
■ YUSHIN AMERICA, INC. TEXAS OFFICE
■ YUSHIN AMERICA, INC. CALIFORNIA OFFICE
(メキシコ) ■ YUSHIN AMERICA, INC. MEXICO BRANCH
TEL: +(52)477-761-2696 FAX: +(52)477-761-2696

■ 駐在員事務所

■ フィリピン

■ YUSHIN PRECISION EQUIPMENT CO., LTD.
PHILIPPINES REPRESENTATIVE OFFICE
TEL: +(63)2-8893-7546 FAX: +(63)2-8856-9616

■ 総代理店

■ ニューージーランド

■ TASMAN MACHINERY LTD.
TEL: +(64)9-379-5716 FAX: +(64)9-379-9915

■ オーストラリア

■ TASMAN MACHINERY PTY LTD.
TEL: +(61)3-8587-8200

■ トルコ

■ TEKKAN PLASTIK SAN. ve TIC. A.S.
TEL: +(90)216-593-00-29 FAX: +(90)216-593-00-38

■ カナダ

■ EN-PLAS, INC.
TEL: +(1)416-286-3030 FAX: +(1)416-286-5963

E (環境)

【環境負荷の低減】

◎ 省エネ商品開発(優秀省エネ機器・システム表彰の受賞)

従来機比
26%
省電力化

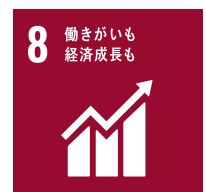
従来機比
25.5%
軽量化



〈取出口ロボット YCシリーズ〉

◎ 環境マネジメントシステム(ISO14001)の推進

関連する SDGs 項目



S (社会)

【お客様工場の働き方改革】

◎ 工場全体の自動化システム提供

【安心・安全】

◎ 世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売

【働きやすい環境づくり】

- ◎ 働き方支援チーム設置
- ◎ 法要請を上回る育休、時短制度
- ◎ 働くママを応援 YUSHIN Mama's Meeting

G (ガバナンス)

【ガバナンス体制の強化】

- ◎ 取締役8名のうち、3名を社外から選任
- ◎ 実効性評価による取締役会の改善

【ダイバーシティ】

- ◎ 取締役8名のうち、女性2名

ESG - 環境

◆省エネ商品の継続的開発

ユーシン精機は、ユーザーで昼夜稼働し続ける生産設備のメーカーとして、省エネ商品の開発を継続的に行っています。

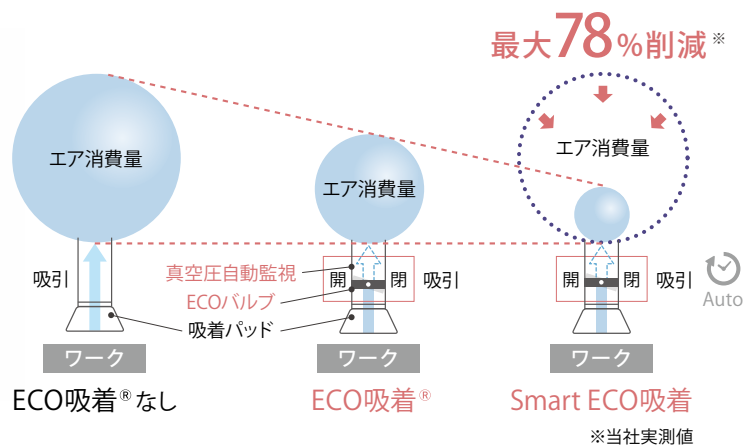
2019年にはフラッグシップモデルであるFRAシリーズが一般社団法人 日本機械工業連合会が表彰する「平成30年度優秀省エネ機器・システム表彰」において、「日本機械工業連合会会長賞」を受賞しました。前身である「優秀省エネルギー機器表彰」における、YCシリーズに

続くものとなり、最適設計をはじめとする、ユーシン精機の省エネルギーに対する継続的な取り組みに対して高い評価をいただけたものと考えております。

2021年7月に発売したRC-SEシリーズでは当社独自技術のエア消費量削減ツールECO吸着®を進化させたSmart ECO吸着（PAT.P）を搭載しました。エア消費量を最大78%カットすることで、エアコンプレッサの電気使用量削減を実現できます。



〈取出口ボット RC-SEシリーズ〉



ESG - 社会

◆働きやすい環境づくり

ユーシン精機は会社の発展はそこで働く人の心が豊かであってこそ成し遂げられると考えており、従業員がより働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

特に育児や介護等の家庭と仕事の両立を支援するため、2009年にはそれまでの「育児支援制度」を大幅に見直し、2010年にも同制度を発展させ、介護に関する制度も制定しています。また、2015年及び2020年には次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画、2016年及び2020年には女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、女性がより働きやすい職場づくりも進めています。2019年からは育児休業中の社員を集めての情報交換イベントを設け、出産や復職における不安軽減にも努

めています。

第3回目となる2021年のイベント参加者からは「クチコミサイトや、SNS等で紹介されている情報ではなく、リアルに子育てしている先輩ママから情報を聞くことができ、大変勉強になった」等の感想が寄せられました。



2019年より働くママを応援する YUSHIN Mama's Meetingを定期開催

ESG - ガバナンス

◆コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社では、経営理念のもと、株主をはじめ、当社をとりまくすべてのステークホルダーからの信用を得ながら、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値の最大化を目指しております。

以下の5点を基本方針に掲げ、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでまいります。

1. 株主の権利を尊重し、株主の平等性を確保するとともに、適切な権利行使に係る環境整備や権利保護に努めます。
2. 株主以外のステークホルダーと、社会良識をもった誠実な協働に努めます。
3. 法令に基づく開示を適切に行うとともに、法令に基づく開示以外の情報も主体的に発信し、透明性の確保に努めます。
4. 透明・公正かつ機動的な意思決定を行うため、取締役会の役割・責務の適切な遂行に努めます。
5. 株主とは、当社の長期安定的な成長の方向性を共有した上で、建設的な対話に努めます。

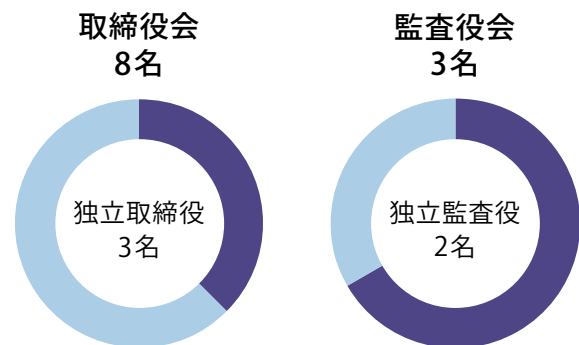
◆取締役会・監査役会の実効性確保

変化の激しい事業環境やグローバル化の進む中、知識・経験・専門性のバランス、多様性、グローバルな視点等を重視し、取締役候補を選任しています。現在、社外取締役を含め8名の取締役が就任しており、それぞれが専門性を発揮し、且つお互い意見交換しながら迅速な意思決定を行うことが可能な規模を維持してまいります。

社外取締役及び社外監査役の他社での兼任状況は、株主総会招集通知、有価証券報告書及びコーポレートガバナンスに関する報告書等を通じ、毎年開示を行っております。業務執行取締役全員は当社グループ以外の他の上場会社の役員は兼任しておらず、取締役の業務に専念できる体制となっております。また、常勤監査役は他社の役員は兼任しておらず、監査役の業務に常時専念できる

体制となっております。

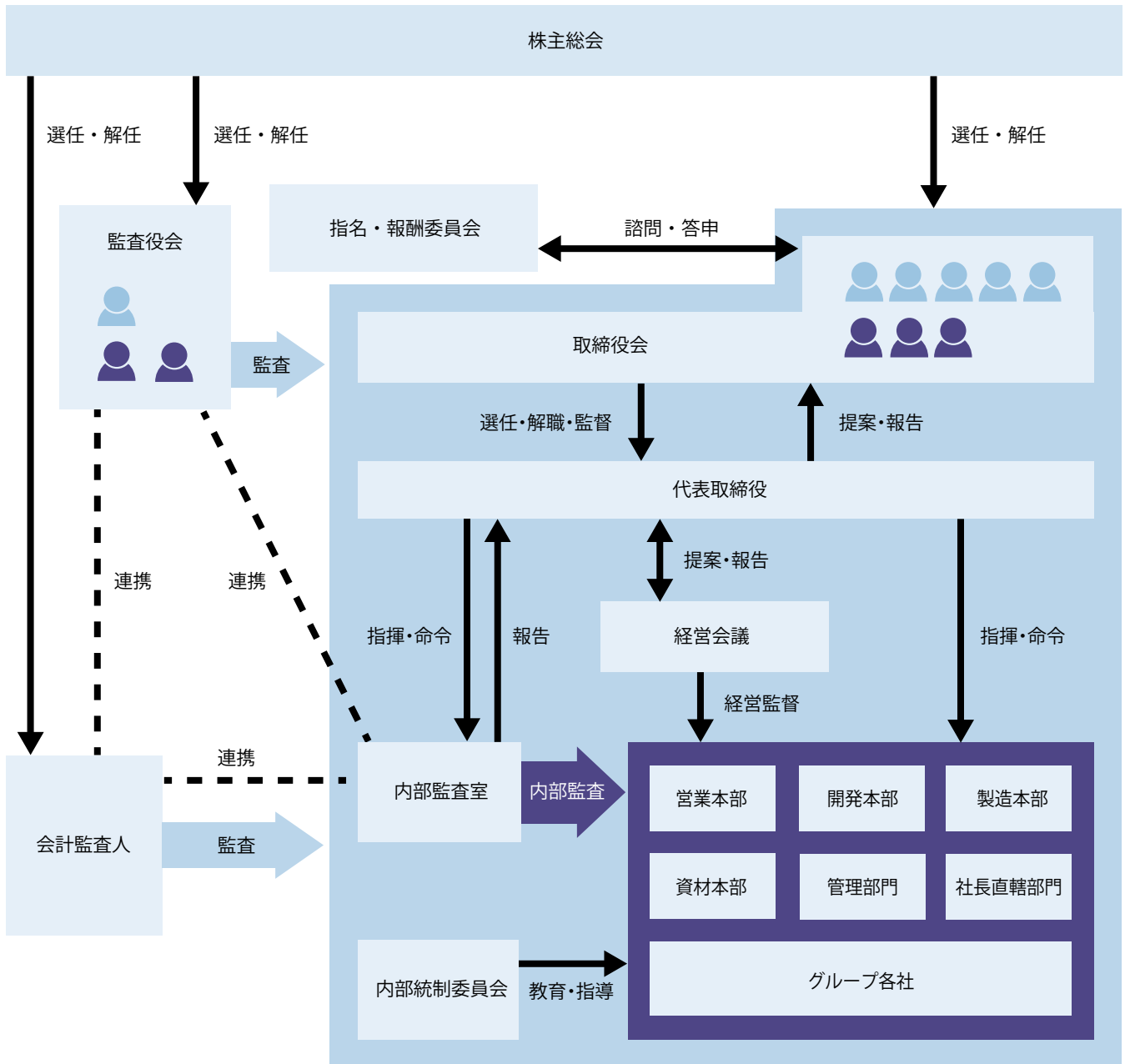
現在は社外取締役等が取締役会全体について分析及び評価しております。また、取締役会の更なる機能向上を図るべく、取締役会全体の実効性の分析・評価について、社内アンケートを行い、結果の分析評価をし、改善を進めております。



◆指名・報酬委員会

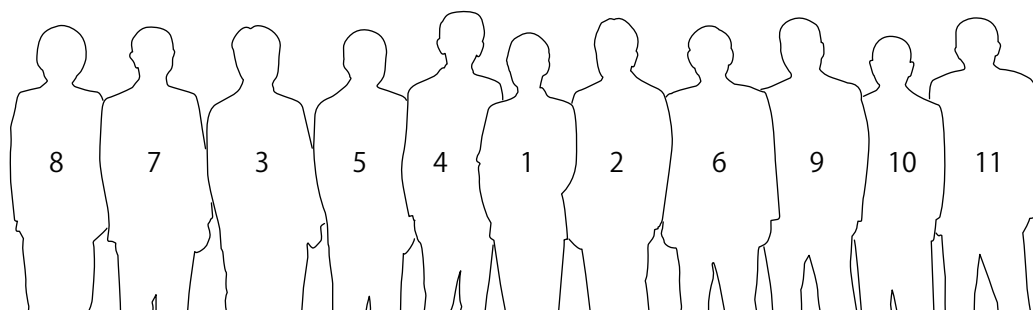
2020年2月、当社役員の指名・報酬等に関する手続の公正性・透明性・客観性を強化し、当社コーポレートガバナンスの充実を図るため、取締役会の諮問機関として指名・報酬委員会を設置しました。2021年6月23日時点の委員長は社外取締役 西口泰夫氏、委員は代表取締役社長 小谷高代氏、社外取締役 松久 寛氏、社外取締役 中山礼子氏、社外監査役 鎌倉寛保氏、社外監査役 津田尚廣氏の5名、合計6名となっております。2021年3月期中には4回の委員会が開催され、役員人事に関する件及び役員報酬制度見直しに関する件が審議されました。

◆コーポレート・ガバナンス体制図



高度な専門知識と豊富な経験を有する取締役により構成される取締役会が当社の業務執行方針を決定することにより、全ての業務執行が適正かつ円滑に行われる体制となっております。当社は単一事業であり、現状の事業規模を勘案すると、少人数の取締役による迅速な意思決定と機動的な業務執行が可能な現行体制に合理性があると考えております。これに加え、豊富な専門的知見を有した社外監査役を含む監査役会の厳正な監査が行われることで経営への監視が行き届く体制となっております。

取締役・監査役



1

代表取締役社長

小谷 高代 こたに たかよ

(戸籍上の氏名 おたかよ 小田高代)
(1977年8月26日生)



所有する当社株式の数
1,968,532株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

- 2008年4月 当社入社
- 2008年10月 当社開発本部研究開発課責任者
- 2009年4月 当社開発本部研究開発部責任者
- 2019年4月 当社執行役員開発本部研究開発部責任者
- 2019年6月 当社執行役員開発本部責任者
- 2020年6月 当社常務取締役開発本部責任者
- 2020年10月 当社取締役副社長兼開発本部責任者
- 2021年6月 当社代表取締役社長(現任)

2

専務取締役製造本部責任者兼資材本部責任者

北川 康史

きたがわ やすし

(1958年8月12日生)



所有する当社株式の数
4,800株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

2007年9月 当社入社
2007年11月 当社製造本部副責任者
2008年4月 当社製造本部副責任者兼品質保証部責任者
2009年4月 当社執行役員製造本部副責任者兼品質保証部責任者
2009年8月 当社執行役員製造本部責任者兼品質保証部責任者
2010年6月 当社取締役製造本部責任者兼品質保証部責任者
2013年6月 当社専務取締役製造本部責任者兼品質保証部責任者
2017年6月 当社専務取締役製造本部責任者兼品質保証部責任者
2020年7月 当社専務取締役製造本部責任者
2021年6月 当社専務取締役製造本部責任者兼資材本部責任者(現任)

3

常務取締役総務部責任者

小田 康太

おだ こうた

(1978年6月10日生)



所有する当社株式の数
10,000株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

2015年10月 当社入社、総務部責任者
2019年4月 当社執行役員総務部責任者
2020年6月 当社取締役総務部責任者
2021年6月 当社常務取締役総務部責任者(現任)

4

取締役営業本部責任者

稲野 智宏

いな の ともひろ

(1962年12月13日生)



所有する当社株式の数
3,400株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1989年6月 当社入社
2005年8月 有信精機貿易(深圳)有限公司総経理
2008年4月 中国現地統括部責任者兼有信精機貿易(深圳)有限公司責任者
2009年7月 当社営業本部責任者付
2010年2月 当社営業本部副責任者
2011年3月 当社営業本部責任者
2014年3月 当社執行役員営業本部責任者
2017年6月 当社取締役営業本部責任者(現任)

5

取締役経営管理部責任者

福井 理仁

ふくい まさひと

(1960年6月30日生)



所有する当社株式の数
2,200株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

2013年10月 当社入社、内部監査室責任者
2015年7月 当社経営管理部経理部責任者
2017年4月 当社執行役員経営管理部責任者兼経理部責任者
2020年4月 当社執行役員経営管理部責任者
2020年6月 当社取締役経営管理部責任者(現任)

6

社外取締役

西口 泰夫 にしぐち やすお
(1943年10月9日生)



所有する当社株式の数
41,000株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

社外 独立役員

1975年3月 京都セラミック(株)(現京セラ(株))入社
1987年6月 同社取締役
1992年6月 同社代表取締役専務
1997年6月 同社代表取締役副社長
1999年6月 同社代表取締役社長
2003年6月 同社代表取締役社長兼執行役員社長
2005年6月 同社代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)
2006年4月 同社取締役相談役
2009年6月 同社取締役相談役退任
2014年6月 当社社外取締役(現任)
2015年3月 (株)ソシオネクスト 代表取締役会長兼CEO
2016年6月 山田コンサルティンググループ(株) 社外取締役
2018年3月 (株)ソシオネクスト 代表取締役会長兼CEO退任
2020年4月 山田コンサルティンググループ(株) 取締役会長(現任)

7

社外取締役

松久 寛 まつひさひろし
(1947年8月5日生)



所有する当社株式の数
15,000株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

社外 独立役員

1976年6月 京都大学工学部精密工学科助手
1987年10月 同大学助教授
1994年4月 同大学教授(1995年改組により機械理工学専攻に移籍)
2012年4月 同大学名誉教授(現任)
2014年6月 当社社外取締役(現任)
2016年6月 テクノロジーシードインキュベーション(株) 監査役
2018年6月 同社監査役退任

8

社外取締役

中山 礼子 なかやま れいこ
(1959年4月2日生)



所有する当社株式の数
15,062株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

社外 独立役員

1983年4月 日本合同ファイナンス(株)(現(株)ジャフコ)入社
1997年1月 丸三証券(株)入社
2000年3月 同社投資情報部長
2004年10月 同社引受部長
2008年10月 (株)リブテック 非常勤取締役
2009年2月 同社取締役管理本部長
2013年3月 同社取締役退任
2015年3月 (株)ラックランド 社外取締役
2016年3月 同社取締役(監査等委員)(現任)
2018年6月 当社社外取締役(現任)
2019年6月 (株)マンダム 社外取締役(現任)

9

常勤監査役

野田 勝美 のだ かつみ

(1959年10月19日生)



所有する当社株式の数
9,014株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

1982年 4月 当社入社
1999年 3月 当社製造本部製造三課課長
2001年12月 当社営業本部営業技術部課長
2005年 4月 当社営業本部システム技術部次長
2010年10月 当社営業本部システム技術部責任者
2019年10月 当社定年退職
2020年 6月 当社常勤監査役(現任)

10

社外監査役

鎌倉 寛保 かまくら ひろほ

(1947年1月27日生)



所有する当社株式の数
8,000株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

社外 独立役員

1971年11月 等松・青木監査法人(現有限責任監査法人トーマツ)入社
1973年 5月 公認会計士登録
2012年 6月 有限責任監査法人トーマツ退社
2012年 7月 当社社外監査役(現任)
トラスコ中山(株) 社外監査役(現任)
2013年 3月 (株)フジオフードシステム
(現(株)フジオフードグループ本社) 社外監査役(現任)
2018年 2月 シン・エナジー(株) 社外監査役(現任)

11

社外監査役

津田 尚廣 つだ なおひろ

(1956年8月14日生)



所有する当社株式の数
- 株

略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況

新任 社外 独立役員

1990年 4月 弁護士登録
1990年 4月 本田陸士法律事務所入所
1995年10月 なにわ橋法律事務所(現弁護士法人なにわ橋法律事務所)入所
2003年 6月 東洋シヤッター(株) 社外監査役(現任)
2009年 6月 弁護士法人なにわ橋法律事務所代表社員(現任)
2021年 6月 当社社外監査役(現任)

◆ 新任役員メッセージ

企業は、コンプライアンスやその社会的責任が問われており、今日ではSDGsやESGへの積極的な取り組みが求められています。ユーシン精機がこのような社会に貢献する企業としてさらに飛躍・発展するよう業務に傾注してまいります。

取締役会のスキルマトリックス

ユーシン精機の経営環境や事業特性等に照らして、今後の持続的成長の実現に向けて、当社の取締役会がその意思決定機能及び経営の監督機能を適切に発揮するために備えるべきスキル(知識・経験・能力)を特定しました。なお、当社取締役会として必要な経験・スキルの内容については、今後も継続して検討を進めてまいります。

当社取締役会は知識・経験・能力における多様性が確保されたメンバーにより、迅速で適切な意思決定を行うとともに、実効性の高い監督機能を実現し、取締役会としての役割・責務を適切に果たしてまいります。

氏名	地位	性別	経営	開発 技術 品質	組織人材開発 サステナビリティ	営業 マーケティング	グローバル	財務 会計	IT DX	ガバナンス リスクマネジメント コンプライアンス
小谷 高代	代表取締役 社長	女性	○	○			○			○
北川 康史	専務取締役	男性	○	○			○		○	
小田 康太	常務取締役	男性	○		○					○
稲野 智宏	取締役	男性	○			○	○			
福井 理仁	取締役	男性	○				○	○	○	
西口 泰夫	社外取締役	男性	○		○	○			○	○
松久 寛	社外取締役	男性		○	○				○	
中山 礼子	社外取締役	女性	○					○		○
野田 勝美	常勤監査役	男性	○	○		○				○
鎌倉 寛保	社外監査役	男性	○					○		○
津田 尚廣	社外監査役	男性	○					○		○

※各人の有する知識や経験を「経営」以外で原則3つまで記載しております。
上記一覧表は、各候補者の有する全ての知識や経験を表すものではありません。



財務データ集

財務情報

◆ 主要連結経営指標

(年度)	2011	2012	2013	2014
売上高	14,240,008	14,721,643	17,909,292	17,799,020
売上総利益	5,429,937	5,770,806	7,640,276	7,277,594
売上総利益率	38.1%	39.2%	42.7%	40.9%
営業利益	1,272,895	1,498,722	2,792,058	2,304,276
営業利益率	8.9%	10.2%	15.6%	12.9%
経常利益	1,265,740	1,746,573	3,095,258	2,542,871
経常利益率	8.9%	11.9%	17.3%	14.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	778,283	1,114,801	1,893,027	1,683,479
純利益率	5.5%	7.6%	10.6%	9.5%

総資産額	22,641,673	23,744,465	26,252,009	29,463,773
総資産純利益率 <ROA>	3.52%	4.81%	7.57%	6.04%
有利子負債	-	-	-	-
純資産額	18,787,344	19,865,622	21,875,926	23,970,142
自己資本比率	82.8%	83.4%	82.9%	80.6%
自己資本純利益率 <ROE>	4.18%	5.78%	9.11%	7.40%

(年度)	2011	2012	2013	2014
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	520	2,575	2,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	(1,920)	(781)	(2,389)	(256)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(409)	(351)	(569)	(560)
現金及び現金同等物の期末残高	8,013	7,564	7,506	9,089

設備投資額	2,009	1,225	1,924	682
減価償却費	166	170	282	277
研究開発費	565	591	448	472

発行済株式総数 (株)	17,819,033	17,819,033	17,819,033	17,819,033
自己株式数 (株)	328,960	329,376	330,197	330,904
1株当たり純利益 <EPS> (円)	44.50	63.74	108.24	96.26
1株当たり純資産 <BPS> (円)	1,072.24	1,131.63	1,243.88	1,357.36
1株当たり配当金 (円)	20	30	30	30
配当性向	44.9%	47.1%	27.7%	31.2%

従業員数 (人)	571	588	589	601
----------	-----	-----	-----	-----

(千円)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	21,148,591	19,346,399	20,878,651	21,833,399	20,011,700	18,473,964
	8,442,768	7,666,369	8,461,348	8,741,219	8,020,037	7,875,173
	39.9%	39.6%	40.5%	40.0%	40.1%	42.6%
	3,086,063	2,112,643	2,358,732	2,760,802	2,309,496	2,522,141
	14.6%	10.9%	11.3%	12.6%	11.5%	13.7%
	2,921,754	2,058,192	2,432,690	2,791,364	2,205,033	2,608,925
	13.8%	10.6%	11.7%	12.8%	11.0%	14.1%
	1,908,626	1,380,273	1,626,768	1,903,435	1,532,851	1,827,868
	9.0%	7.1%	7.8%	8.7%	7.7%	9.9%
	29,409,602	30,761,736	32,572,888	33,197,260	31,933,368	34,688,675
	6.48%	4.59%	5.14%	5.79%	4.71%	5.49%
	-	-	-	-	-	-
	24,715,668	25,451,718	26,472,034	27,117,484	27,471,961	29,199,402
	83.3%	82.1%	80.6%	80.9%	85.3%	83.5%
	7.91%	5.55%	6.32%	7.17%	5.67%	6.51%

(百万円)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020
	2,218	1,626	1,223	2,291	3,558	3,487
	(5,105)	(471)	(2,511)	(61)	(1,475)	(1,987)
	(677)	(678)	(659)	(1,316)	(946)	(561)
	5,297	5,690	3,763	4,669	5,652	6,846
	4,754	546	652	256	198	125
	268	474	924	778	703	643
	510	619	598	413	369	347
	17,819,033	17,819,033	17,819,033	35,638,066	35,638,066	35,638,066
	331,208	331,715	331,982	1,333,548	1,602,454	1,602,518
	109.14	78.93	93.03	54.54	45.01	53.70
	1,401.54	1,444.38	1,500.75	783.03	800.04	850.95
	36	36	33	17	18	18
	33.0%	45.6%	35.5%	30.9%	40.0%	33.5%
	636	663	683	683	689	681

財務情報

◆ 連結貸借対照表（年度末）

(千円)

(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
資産の部					
流動資産					
現金及び預金	5,734,493	5,655,106	6,362,933	8,646,219	11,690,730
受取手形及び売掛金	6,479,748	7,042,925	6,844,705	5,410,654	5,563,680
商品及び製品	769,815	825,365	717,394	772,690	1,007,401
仕掛品	884,830	1,117,029	1,696,139	1,120,628	987,869
原材料及び貯蔵品	2,179,141	3,542,893	3,619,833	3,165,533	2,987,777
未収消費税等	515,608	197,063	34,295	19,143	71,912
その他	374,476	567,362	707,880	276,266	236,954
貸倒引当金	(21,298)	(20,151)	(18,327)	(19,247)	(36,825)
流動資産合計	16,916,816	18,927,595	19,964,853	19,391,889	22,509,500
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物(純額)	6,041,212	5,424,201	4,995,284	4,554,294	4,166,174
機械装置及び運搬具(純額)	193,037	162,285	147,766	137,466	116,036
土地	5,784,160	6,133,446	6,130,716	6,107,772	6,129,718
建設仮勘定	5,749	4,855	8,549	10,199	22,001
その他(純額)	231,654	158,631	126,148	96,244	97,627
有形固定資産合計	12,255,813	11,883,420	11,408,464	10,905,978	10,531,559
無形固定資産					
その他	473,285	494,152	429,392	358,333	254,601
無形固定資産合計	473,285	494,152	429,392	358,333	254,601
投資その他の資産					
投資有価証券	220,783	276,387	218,062	159,973	285,724
退職給付に係る資産	292,959	274,331	294,037	285,556	296,727
繰延税金資産	452,334	574,606	705,335	658,373	621,419
その他	149,999	162,895	196,910	193,669	209,365
貸倒引当金	(251)	(20,501)	(19,795)	(20,403)	(20,224)
投資その他の資産合計	1,115,821	1,267,720	1,394,549	1,277,168	1,393,012
固定資産合計	13,844,920	13,645,293	13,232,406	12,541,479	12,179,174
資産合計	30,761,736	32,572,888	33,197,260	31,933,368	34,688,675

(千円)

(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
負債の部					
流動負債					
支払手形及び買掛金	1,686,219	1,764,363	1,331,229	895,133	1,933,977
電子記録債務	1,306,059	1,140,929	1,035,982	803,258	839,221
未払金	750,992	505,356	492,256	418,287	542,158
未払法人税等	100,112	608,628	523,827	137,914	400,497
前受金	604,929	1,175,887	1,755,449	1,270,310	789,464
賞与引当金	252,861	256,847	273,647	267,606	282,429
役員賞与引当金	22,710	29,840	37,520	23,410	42,800
製品保証引当金	122,870	145,325	147,609	178,399	162,715
その他	245,736	270,318	262,543	256,484	328,688
流動負債合計	5,092,491	5,897,496	5,860,064	4,250,803	5,321,953
固定負債					
役員退職慰労引当金	66,780	66,780	66,780	66,780	-
退職給付に係る負債	53,853	51,486	65,723	62,919	87,948
繰延税金負債	37,461	32,855	37,324	34,438	35,955
その他	59,431	52,236	49,882	46,466	43,415
固定負債合計	217,526	203,358	219,710	210,603	167,319
負債合計	5,310,018	6,100,854	6,079,775	4,461,407	5,489,273
純資産の部					
株主資本					
資本金	1,985,666	1,985,666	1,985,666	1,985,666	1,985,666
資本剰余金	2,023,903	2,023,903	2,023,903	2,023,903	2,024,597
利益剰余金	21,273,290	22,270,517	23,579,393	24,531,217	25,848,552
自己株式	(353,994)	(354,848)	(1,039,026)	(1,355,167)	(1,355,222)
株主資本合計	24,928,866	25,925,238	26,549,936	27,185,619	28,503,594
その他の包括利益累計額					
その他有価証券評価差額金	58,545	97,103	56,815	16,443	103,840
為替換算調整勘定	203,291	164,323	184,923	(34,487)	290,333
退職給付に係る調整累計額	67,699	56,982	69,743	62,169	64,753
その他の包括利益累計額合計	329,536	318,409	311,482	44,125	458,927
非支配株主持分	193,315	228,385	256,066	242,216	236,879
純資産合計	25,451,718	26,472,034	27,117,484	27,471,961	29,199,402
負債純資産合計	30,761,736	32,572,888	33,197,260	31,933,368	34,688,675

財務情報

◆ 連結損益計算書

	(千円)				
(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
売上高	19,346,399	20,878,651	21,833,399	20,011,700	18,473,964
売上原価	11,680,029	12,417,302	13,092,179	11,991,662	10,598,790
原価率	60.4%	59.5%	60.0%	59.9%	57.4%
売上総利益	7,666,369	8,461,348	8,741,219	8,020,037	7,875,173
売上総利益率	39.6%	40.5%	40.0%	40.1%	42.6%
販売費及び一般管理費	5,553,726	6,102,616	5,980,416	5,710,541	5,353,032
営業利益	2,112,643	2,358,732	2,760,802	2,309,496	2,522,141
営業利益率	10.9%	11.3%	12.6%	11.5%	13.7%
営業外収益					
受取利息	6,072	5,900	5,316	6,782	6,139
受取配当金	4,683	4,697	5,162	6,646	5,743
仕入割引	12,556	14,657	13,410	10,126	6,846
為替差益	-	-	-	-	34,653
補助金収入	22,942	89,268	49,499	-	15,552
その他	35,651	14,908	36,555	22,928	19,384
営業外収益合計	81,905	129,431	109,943	46,484	88,319
営業外費用					
売上割引	1,209	647	1,105	1,170	606
為替差損	129,316	54,302	77,406	147,975	-
その他	5,830	523	869	1,801	928
営業外費用合計	136,356	55,473	79,381	150,947	1,535
経常利益	2,058,192	2,432,690	2,791,364	2,205,033	2,608,925
経常利益率	10.6%	11.7%	12.8%	11.0%	14.1%
特別利益					
固定資産売却益	1,755	7,268	2,423	5,669	1,964
投資有価証券売却益	574	-	-	-	-
特別利益合計	2,329	7,268	2,423	5,669	1,964
特別損失					
固定資産除却損	50,881	1,682	9,924	1,185	74
その他	-	92	214	1,000	-
特別損失合計	50,881	1,775	10,138	2,185	74
税金等調整前当期純利益	2,009,640	2,438,183	2,783,649	2,208,516	2,610,815
法人税等合計	598,005	755,337	819,799	629,267	752,971
当期純利益	1,411,635	1,682,846	1,963,849	1,579,248	1,857,844
非支配株主に帰属する当期純利益	31,361	56,077	60,414	46,397	29,975
親会社株主に帰属する当期純利益	1,380,273	1,626,768	1,903,435	1,532,851	1,827,868
純利益率	7.1%	7.8%	8.7%	7.7%	9.9%

◆ 受注、受注残高、販売の状況

(百万円)

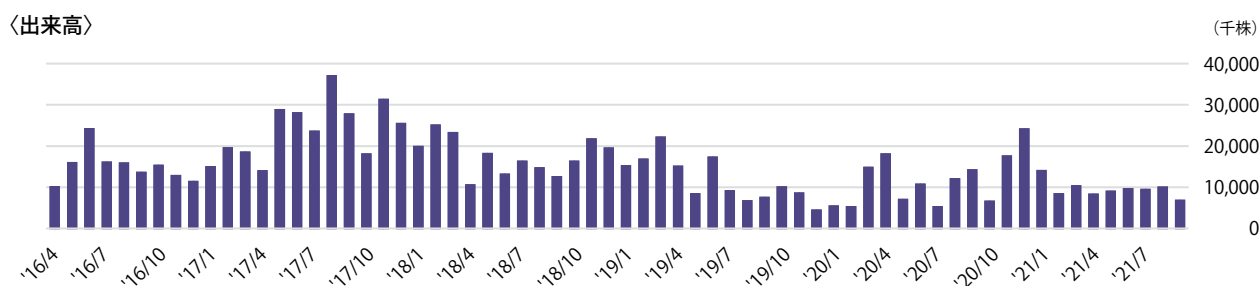
(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
品目別受注高					
取出口ポット	13,910	15,996	15,549	11,885	12,785
特注機	3,207	3,486	3,679	2,997	2,784
部品・保守サービス	3,114	3,264	3,418	3,168	3,145
合計	20,232	22,747	22,647	18,051	18,715
受注残高					
取出口ポット	2,420	2,967	3,004	2,120	3,000
特注機	1,039	2,321	3,120	2,061	1,423
部品・保守サービス	206	247	225	208	207
合計	3,667	5,536	6,350	4,390	4,631
品目別売上高					
取出口ポット	13,410	15,449	15,512	12,770	11,904
特注機	2,832	2,204	2,880	4,056	3,422
部品・保守サービス	3,103	3,223	3,440	3,185	3,147
合計	19,346	20,878	21,833	20,011	18,473
地域別売上高					
日本	7,955	8,335	9,304	8,159	6,936
中国・台湾	2,477	3,468	2,816	2,395	2,753
その他アジア	4,200	4,594	4,876	3,504	3,032
欧州	693	687	939	2,079	1,782
北米	3,573	3,172	3,233	3,343	3,375
その他	445	620	663	527	593
合計	19,346	20,878	21,833	20,011	18,473
業種別売上高					
自動車	5,511	6,106	6,724	5,792	4,247
医療	902	1,087	2,705	4,303	4,878
電子部品	3,992	4,807	3,698	3,617	3,305
家電	2,862	3,187	3,195	2,110	1,653
雑貨	1,741	1,981	2,229	1,966	1,764
容器	1,715	1,799	1,916	1,276	1,496
光学	2,072	1,342	704	465	624
その他	549	565	657	478	501
合計	19,346	20,878	21,833	20,011	18,473

株式情報

◆ 株式情報

(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
発行済株式総数(株)	17,819,033	17,819,033	35,638,066	35,638,066	35,638,066
自己株式数(株)	331,715	331,982	1,333,548	1,602,454	1,602,518
株主数(人)	3,483	3,370	4,307	4,348	4,320
年間配当金(円)	36	33	17	18	18
配当性向	45.6%	35.5%	30.9%	40.0%	33.5%

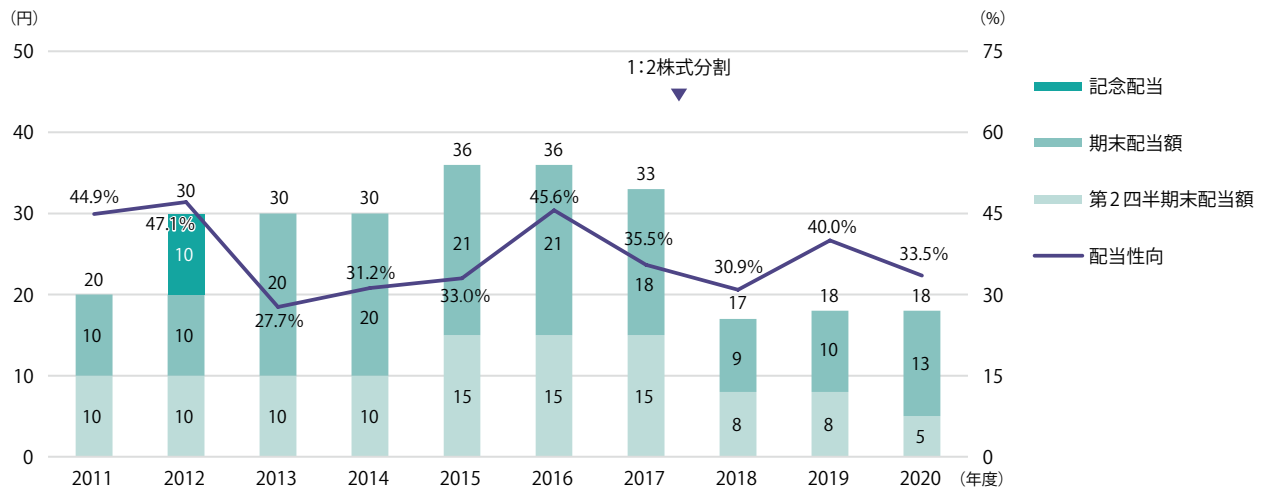
◆ 株価・出来高の推移^{*1}



(年度)	2016	2017	2018	2019	2020
株価 - 高値(円)	1,700	1,940	1,734	1,258	1,037
安値(円)	795	1,295	774	645	593
終値(円)	1,459	1,727	1,005	673	891
時価総額(百万円)	51,996	61,547	35,816	23,984	31,754
累積売買高(株)	18,807,800	30,204,800	19,684,100	11,242,100	14,810,300
配当利回り	1.2%	1.0%	1.7%	2.7%	2.0%
株価収益率(倍)〈PER〉	36.97	37.13	18.43	14.95	16.59
株価純資産倍率〈PBR〉	2.02	2.30	1.28	0.84	1.05

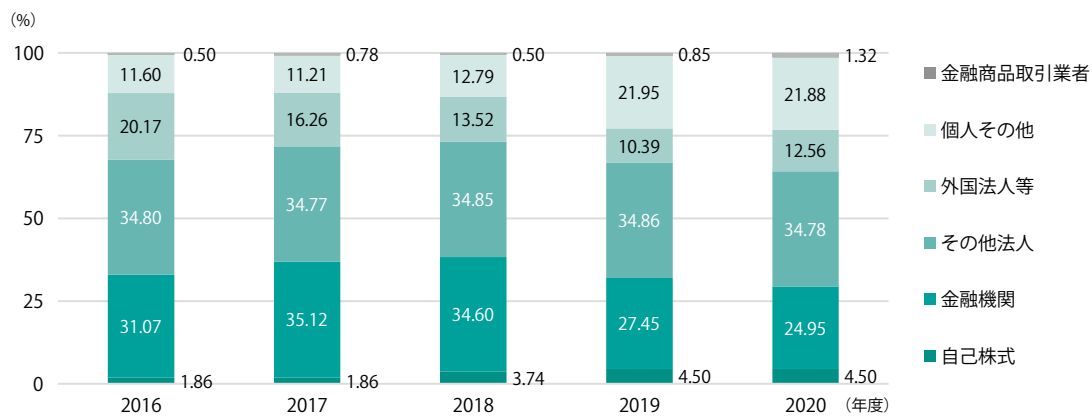
^{*1} 株式分割日以前の取引値についても遡って修正をおこなっております。

◆ 1株当たり配当額 *2



*2 実際の配当額を記載しております。

◆ 所有者別株式分布の推移



◆ 大株主 *3,*4

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ユーシンインダストリー	11,992	35.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,238	6.6
小谷 高代	1,968	5.8
村田 美樹	1,847	5.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,725	5.1
京都中央信用金庫	1,088	3.2
小谷 真由美	1,040	3.1
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	955	2.8
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	860	2.5
株式会社三菱UFJ銀行	849	2.5

*3 2021年9月30日時点

*4 当社の自己株式1,602,646株は、上記の表から除いております。

会社情報

◆ 会社概要

名 称	株式会社ユーシン精機
代表者	小谷 高代
本社所在地	〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地
設 立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	689人〈2021年9月30日現在〉
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	取出口ロボットを中心にプラスチック射出成形工場の合理化、FA化を推進する機器、システムの開発、製造、販売
主要商品	プラスチック射出成形品取出口ロボット、自動ストック装置及び省力化自動機器
役員等 〈2021年9月30日現在〉	名誉会長 小谷 真由美 代表取締役社長 小谷 高代 専務取締役 北川 康史 常務取締役 小田 康太 取締役 稲野 智宏 取締役 福井 理仁 社外取締役 西口 泰夫 社外取締役 松久 寛 社外取締役 中山 礼子 常勤監査役 野田 勝美 社外監査役 鎌倉 寛保 社外監査役 津田 尚廣



株式会社 ユーシン精機

〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地

www.yushin.com

2021.10